



2013年10月25日

独立行政法人建築研究所国際地震工学センター

第102号

〒305-0802 茨城県つくば市立原1 TEL 029-879-0678 FAX 029-864-6777

## 今月の話題

- 新研修コースがスタート
- 政研大 入学ガイダンス
- JAEE-ESGWS
- 10th IWSMRR
- インドネシア BMKG 代表団来所
- 研修生からのレター
- 新しい研修生の紹介

## 研修 データベース

IIEENET(地震防災技術情報ネット)

IIEE-UNESCO レクチャーノート

Eラーニング

シノプシス・データベース(修士論文概要)

Bulletin データベース

## 地震データベース

2011年3月11日東北地方太平洋沖地震

地震情報

宇津カタログ(世界の地震被害)

地震カタログ(世界の大地震の震源メカニズム、余震分布等)

## 10月3日から新研修コースがスタート

国際地震工学研修の開会式が10月3日(木)16:00-16:30にJICA 筑波国際センターにて開催されました。9人の地震学コース研修生、8人の地震工学コース研修生、そして、4人の津波防災コース研修生が、式典に参加しました。



建築研究所坂本理事長

最初に、木邑洗一 JICA 筑波国際センター所長が開会の挨拶を行い、続いて坂本雄三建築研究所理事長が歓迎の挨拶を述べました。理事長は、挨拶の中で、建築研究所は50年以上に亘り研修事業を行っており、世界中で元研修生が地震災害軽減のためにその力を注いでいると語りました。その後、政策研究大学院大

学(GRIPS)安藤尚一教授に祝辞を頂きました。その後それぞれ研修生も自己紹介を行い、最後に、研修生を代表して、ネパールのムクンダ・バタライ氏が答辞を述べました。

関係各国政府と JICA 事務所の協力により、本年の研修には、13ヶ国 28名の応募がありました。最終的に、12ヶ国 21名の候補者が IIEE と GRIPS による厳しい審査をくぐり抜けました。新研修生は、準備時間が短い中で慌ただしく日本にやってきました。



新研修生及び建築研究所・JICA つくばスタッフ

新しい通年コース研修生を入れて、研修生の数は81ヶ国 1,099名になりました。これら新研修生を加えますと、国際地震工学センターの研修生は、合計99ヶ国 1,630名になります。国際地震工学センターでは100ヶ国めとなる研修生を今か今かと待っています。

## 政研大 入学ガイダンス・オリエンテーション

IISEE の通常コースは、政策研究大学院大学 (GRIPS) と共同で実施しており、研修生は、IISEE の通常コースに参加するにより、GRIPS の防災政策修士課程に入学することになります。これによって、研修生は、1 年間で修士に必要な履修単位を取得すると、GRIPS と IISEE から修士号「防災政策」を取得することができます。

### 論文募集

IISEE Bulletin は、現在地震学、地震工学、津波に関する論文を募集しております。開発途上国に関するものを対象としていますが、それに限らず募集しています。

送って頂いた未発表の論文は、編集委員会と専門家による査読を行います。投稿料は無料です。

是非チャレンジして下さい。



10月2日(水)、入学ガイダンス・オリエンテーションが、政研大想海樓ホールで開催されました。当日はひどい雨の日で、研修生は、JICA つくばから東京の政研大までバスで出かけましたが、道中交通渋滞にはあい、途中でバスから地下鉄に乗り換えました。そのため結局ガイダンス等に遅れ、楽しみにしていた学長歓迎挨拶には間に合いません

でした。しかしながら、到着すると、政研大のスタッフの皆様が待っていて、研修生をあたたかく迎えてくれました。

ホールでの概要説明の後、安藤尚一教授がプログラムのガイダンスを行いました。森地茂教授と武田文男教授も出席されました。ガイダンスの最後には、防災・復興・危機管理国内プログラムの学生も教室に来て、研修生に1人ずつ自己紹介をしました。学生の1人は、日本の伝統武芸である薙刀(なぎなた)を身振りを交えて説明していました。学生の趣味とのことでしたが、研修生も喜び大きな拍手をしていました。ガイドラインの後、武田先生、森地先生のご提案により、研修生と学生が雨の中楽しそうに一緒に昼食に出て行きました。研修生は、この後つくばで講義を受け、政研大では、1月～2月に2週間、集中講義を受けます。



## 国際ワークショップ: JAEE-ESGWS

国際地震工学センター長 横井俊明

2013年9月24日、東京六本木の政策研究大学院大学において、日本地震工学会、政策研究大学院大学、建築研究所の共催により JAEE-ESGWS (表層地



楽しむのは今です。

## 連絡先

IISEE ニュースレターは、IISEE と卒業生の架け橋を目指しています。

ニュースレターへの報告や記事をお待ちしております。皆様の自国でのご活躍をお知らせ下さい。

また、皆様の同僚やお友達もこのメーリングリストに登録するようにお誘い下さい。

iiiseenews@kenken.go.jp  
<http://iisee.kenken.go.jp>

盤が強震動に及ぼす影響に関する国際ワークショップ)が開催されました。約 70 名の参加者の前でフランス、日本、メキシコ、ニュージーランド、トルコ、米国そして台湾から参加した 13 名の研究者が最新の研究課題について発表しました。新しい知見が数多く発表され、知識を深めることができました。本ワークショップのプログラムは下記ウェブサイトからダウンロード可能です。

[http://www.jaee.gr.jp/en/wp-content/uploads/2013/09/Program\\_JAEErev5.pdf](http://www.jaee.gr.jp/en/wp-content/uploads/2013/09/Program_JAEErev5.pdf)

また、ハンドアウト集は日本地震工学会にて販売されております。こちらのメールアドレス宛にお問合わせ下さい。(office@general.jaee.gr.jp)。

## 国際ワークショップ: 10th IWSMRR

国際地震工学センター長 横井俊明

2013 年 9 月 25 日、政策研究大学院大学(東京六本木)において、政策研究大学院大学と建築研究所の共催により、10thIWSMRR(第 10 回地震マイクロゾーン・リスク軽減国際ワークショップ)が開催されました。



第 10 回地震マイクロゾーン・リスク軽減国際ワークショップ、政研大にて

約 60 名の参加者の前で、フランス、日本、メキシコ、スペイン、フィリピンそして台湾から参加した 15 名の研究者が講演を行いました。2011 年の東日本大震災の概要の他、日本政府や関連協会による災害対策、スペインで近年発生した地震についての報告、マイクロゾーン・リスク軽減国際ワークショップ、危機管理などが報告されました。本ワークショップ参加者の多数は、前日の 9 月 24 日に同開催地にて開催された JAEE-ESGWS

にも参加しました。2つのワークショップ参加を通して、参加者間での情報共有を深めるよい機会となったと思います。

## インドネシア気象気候地球物理庁代表団が来所



インドネシア気象気候地球物理庁

2013 年 9 月 5 日、インドネシア、気象気候地球物理庁(BMKG)教育研修センターの代表団が IISEE を訪問しました。訪問団の訪問目的は、遠隔教育と訓練モジュールの製作過程に関する調査です。訪問団のメンバーは、BMKG の Hendar Gunawa 氏、Girwanto 氏、Sindhu Nugroh 氏、Achmad Kosasi 氏、そしてバンドン工科大学の Nanang Tyasbudi Puspito 教授の 5 名でした。

Hendar Gunawan 氏は 2000 年セミナーコースの元研修生で、国際地震工学センター職員達との再会を喜んでいました。

BMKG 職員である 2012-2013 地震学コース研修生、Sabarani Andiyansyah



バックナンバーは  
下記をご覧ください。

<http://iisee.kenken.go.jp/nldb/>

Zulfikar(アンディ)氏が、研究所周辺を案内しました。

その後、古川シニアフェローが、遠隔教育と訓練モジュールの製作過程と、地震・津波に関する IISEE での研修教育システムについて紹介し、また、今後の共同研究の可能性について議論しました。最後に、谷研究員が実大構造物実験棟を案内しました。IISEE での滞在時間は 2 時間だけでしたが、有意義な時間を過ごされたと思います。



IISEE セミナールームにて

## 研修生からのレター

✉ Dr. Federico David Guendel

包括的核実験禁止条約機構 (CTBTO) 暫定技術事務局 前国際監視制度局長  
(コスタリカ、地震学コース, 1975-1976)

グレンデル氏は、2013年9月7日にご逝去された元国際地震工学部長服部定育氏に対しお悔やみの言葉を送ってられました。服部氏はグレンデル氏の個人研修の指導教官であり、現地視察にも一緒に出かけられたそうです。氏は、服部氏のご家族とIISEEの皆様に弔意を表していました。






✉ Mr. Hari Narain Srivastaba




(インド、\* 上級コース地震学専攻, 1969-1970)

\* 上級コースは現在「個別コース」と名称が変わりました。









スリバスタバ氏は、2013年6月にラス・ランバアカデミック出版から「地震予測可能性、カオス、主成分分析:地震学」(直訳)という本を出版したそうで、本はアマゾン・ドット・コムで購入できるそうです。

## \*\*\* 新しい研修生 2013-14 \*\*\*

No.	国名	氏名	役職/所属先
<b>地震学コース (9名)</b>			
1	 アルジェリア	Mr. Faouzi GHERBOUDJ	国立地震工学研究センター 準研究員
2	 アルメニア	Mr. Ara GHONYAN	危機管理省 西部地震防災調査所 地震課 上級研究官
3	 インドネシア	Ms. Yanuarsih Tunggal PUTRI	気象気候地球物理庁 地震津波センター 地震情報室 職員
4	 ミャンマー	Mr. Tin Myo Aung	運輸省 気象水文局 マンダレー地震観測所 副監理官
5	 ネパール	Mr. Mukunda BHATTARAI	産業省 鉱山地質局 国立地震センター 地震研究員

6		ニカラグア Ms. Xochilt Esther ZAMBRANA AREAS	ニカラグア国立自治大学 地質・地球物理研究所 地質エンジニア
7		パキスタン Mr. Shafiq Ur REHMAN	パキスタン気象庁 国立地震監視センター 気象研究員
8		パキスタン Mr. ZAHID Raza	水利・電力省 水利・電力開発庁 上級地震研究員
9		ベネズエラ Ms. Raquel Noemi VASQUEZ STANESCU	ベネズエラ国立地震研究財団 / 地震研究員

### 地震工学コース（8名）

1		バングラデシュ Mr. Md. Emdadul HUQ	住宅公共事業省 公共事業局 設計第一課 準エンジニア
2		バングラデシュ Mr. Md. Shamsul ISLAM	住宅公共事業省 公共事業局 設計第四課 準エンジニア
3		エルサルバドル Ms. Pamela URRUTIA BARRIOS	中央アメリカエンジニアリング会社 準構造エンジニア
4		インドネシア Mr. Adhi Yudha MULIA	公共事業省 人間居住研究所 プログラム協力課 職員
5		ニカラグア Mr. Erasmo Jose AGUILAR ARRIOLA	ニカラグア国立工科大学 建築学部 理論・計画学科 助教
6		ペルー Ms. Erika Nora FLORES TERREROS	ペルー国立工科大学 日本・ペルー地震防災センター 準研究員
7		トルコ Mr. Onur BALAL	首相府 財団総局 技術監査役
8		トルコ Mr. Ergun BINBIR	イスタンブール工科大学 構造工学研究所 研究員

### 津波防災コース（4名）

1		インドネシア Mr. Budiarta	気象気候地球物理庁 地震工学管理室 室長
2		インドネシア Mr. Nurpujiono	気象気候地球物理庁 地震開発業務室 職員
3		ミャンマー Mr. Myo Nan Da Aung	運輸省 気象水文局 国立水文研究所 副監理官
4		ペルー Mr. Jorge Manuel MORALES TOVAR	ペルー国立工科大学 日本・ペルー地震防災センター 準研究員

合計21名

\* 日本での生活と研修の成就を応援します。 😊